# 古志福祉だより

第99号
令和８年１月
古志地区社会福祉協議会
TEL 21−0925
FAX 21−1066


ふれあいと　みんなが　笑顔の　まちづくり

## ■ 古志福祉の日　地域福祉部長　槇原　茂

11月23日の古志福祉の日には、恒例の福祉講演会が開催されました。今回は、出雲市社会福祉協議会の石橋優美さんにご講演いただきました。

前半、出雲市における一人暮らし高齢者の現状、介護保険でカバーしきれない支援のニーズ、「たすけあい」が生きがいや関係づくりにとっても大切であることなど学びました。後半は、参加者が四グループに分かれ、草取り、買い物代行、衣類の整理等々、それぞれ自分なら助けられること、逆に助けてほしいことのカードを選び、「たすけあい」の具体的なイメージづくりに取り組みました。このたびの講演会は、今後古志地区の実情に合った「たすけあい活動」を検討していくうえで、有意義な機会になったと考えます。

ご講演いただいた石橋さん、グループ協議をサポートしていただいた澄田明子さんに心より感謝申し上げます。

また、「ことぶき市」もおこなわれました。

町内の皆様が丹精をこめて作られた野菜や手作りの品々を安価に提供して頂き、大変喜ばれました。

御協力頂いた皆様に心から御礼申し上げます。

## 戦没者慰霊祭挙行に対します御礼について

古志遺族会 会長　勝部　均

本年も戦没者及びその遺族のために慰霊祭を開催していただきありがとうございました。

今年で戦争を終えて八十年になりました。古志地区からは、出征された八十人の方が犠牲になられたとお聞きしておりますが、御位牌としては六十八名、出雲市からは六千四百余名、島根からは二万二千余名、日本全国から二百四拾万余名戦死者を出して終戦致しました。

それから八十年、私達も高齢化致しました。戦争の記憶も薄れました。ウクライナ、ロシア、中近東では戦争は絶えませんが、我々は戦争の仕組みを忘れました。平和を感謝しながら供養をしてゆきたいと思っております。

## ■ モルックを楽しもう　元気サロン部長　吉井乃里子

10月17日、元気サロンでは、モルックを楽しみました。モルックは、木の棒を投げて、数字が書かれた12本のピンを倒し得点を競うゲームです。年齢を問わず気軽にできることから最近人気が高まっています。当日は、14名の参加者が、４チームに分かれて対戦しました。

モルックには、「50点ちょうどでクリア」というルールがあります。このため自分のチームだけでなく、対戦相手の様子も窺い戦局を読む必要があります。50点が近づくにつれて、どのピンをねらうか考えて狙いを定めて投げるなど勝利への攻略法を探っていくところがこの競技の醍醐味と言えます。見事目標のピンに命中したりはずれたり…。そのたびに集会室には歓声や拍手が響きました。簡単そうに見えて、実は奥が深いこの競技。初めての方もベテランの方も楽しむことができました。ゲームを楽しむとともに交流の輪を広げる機会ともなったように思います。

次回もまた多くの方のご参加をお待ちしています。

## ■ 第二回映写会報告　地域福祉部長　槇原　茂

さる10月11日土曜日、第二回映写会を開催しました。今回は、地区の皆様から賜ったご寄附を使わせていただき、『ジャッジ！』を上映することができました。近年では最多の41名の方々に鑑賞していただきました。改めまして、厚く御礼申し上げる次第です。

映画では、主演の妻夫木聡はじめ、いまや第一線で活躍中の俳優たちの若き日のパワフルでコミカルな演技を通して、CM業界のちょっとあやしい舞台裏も垣間見ることができました。CMコンテスト世界大会が舞台になっており、テレビでお馴染みのコマーシャルをもじったシーンも楽しめました。

なお、本年度第３回の映写会は、来年２月、真田広之主演のあの名作時代劇！を上映する予定です。詳しくはチラシでご案内します。乞うご期待！

## ■ まごころの品即売会

総務部長　勝部和徳

10月24日、25日に開催された「第43回古志文化祭」の催しの１つとして、25日に社会福祉協議会は「まごころの品即売会」をおこないました。

今回も町内の皆様にはたくさんのまごころの品を提供いただき、当日は多くの皆様に購入していただき、大変盛況でほぼ完売しました。

お陰様で、５万３千円余りの売り上げがありました。これは、社会福祉協議会の活動に大切に使わせていただきます。

この催しにご理解ご協力いただきました皆様に心から御礼申し上げます。

## ■ りんごちゃん教室

乳幼児部長　三谷裕美子

乳幼児部事業として、12月３日は「サンタと一緒にクリスマス会」をしました。この日は７組の親子の参加があり、交流されました。

まず「てての会」の人形劇を楽しみました。手作りの人形で「ぐりとくら」をしてくれました。生後１ヶ月から２才の子が保護者と共に熱心に身入っていたのが印象的でした。

その後サンタの登場「フィンランドから出雲空港に着きました」という自己紹介で笑いがおこりました。お待ちかねのプレゼントをもらい、記念撮影もバッチリ。サンタとトナカイとプレゼント!!笑顔の写真がとれました。

今年もあとわずか、「りんごちゃん教室での交流は楽しかったね」とお母さん達。来年度はどんなことがしたいか、アンケートをしました。クリスマス会、七夕会、ミニ運動会、おやつ作りは人気があります。毎回の保健師による計測や健康相談も喜ばれています。乳幼児部事業として、子育てを楽しみながら仲間づくりができるように応援していきます。

## 俳句　五七会

冬紅葉想いめぐらす卒寿かな　福田　芳子
白む空朝日登りて染む山よ　原　小夜子
熱熱と肩まで浸かり冬に入る　高橋　美夫

## ■ 古志子ども福祉ボランティア活動

青少年部長　高塚康代

募金活動へのご協力ありがとうございました。
17，703円を能登に届けることができました。

## ■ 10/17 古志幼稚園の芋掘り

園児たちは、立派に育ったさつま芋を次々と掘り出して大歓声。きっとご家族と一緒におなか一杯食べたことでしょう。

この「古志福祉だより」は、「出雲市社会福祉協議会の会費、寄附金及び共同募金を財源とした出雲市社会福祉協議会地区社協等活動総合支援事業の助成金」を財源の一部として発行しています。